

第29期第3 回常任理事会議事要旨

日 時：1996年10月24日（木）13時30分～17時30分

場 所：気象庁内気象学会事務局

出席者：松野、関口、二宮、山岸、村松、新野、斎藤、塩原、住、田中（博）、木田、以上11名

その他の出席：事務局（島津、館）

議 事

1. 第29期第2 回常任理事会議事録の確認

2. 各委員会報告

庶務…学会刊行物転載許可依頼1件（東北大学）、依頼通り許可。

- 後援等名義使用依頼2件（第43回風に関するシンポジウム、第4回アジア学術会議科学者フォーラム）、依頼通り許可。
- 日本学術会議から「平成8年度アジア学術交流を促進する会」への参加要請、依頼を承認。
- 「第5回水資源に関するシンポジウム」関連
 - (1) 選任された協力委員を承認。シンポジウム委員：木村龍治（東京大学海洋研究所）、運営委員：浅井富雄（千葉大学環境リモートセンシングセンター）及び館英男（学会事務局）、論文審査委員：松山洋（東京都立大学理学部）。
 - (2) 第1回打ち合わせ出席報告（今後の予定等）。
- 日本学術会議災害研究連絡会及び風工学専門委員会から今後の「風工学シンポジウムの運営並びに刊行物の取り扱い」について、(1) 日本風工学会を常任副幹事学協会とする。(2) シンポジウム論文集にかかる事務は日本風工学会が行うとの要請を承認。なお、「第14回風工学シンポジウム」の気象学会委員は運営委員：内藤玄一（防衛大学校）、事務担当：館（学会事務局）。
- (財) 地球環境産業技術研究機構（RITE）から委託され、調査している（株）オービス総研から「RITE内の研究者である論文の原著者がサマリーを800字程度に」まとめ直しインターネット上で公開してよいかの照会。この公開方法は原著者の自由であるが、レファラーが不可欠と回答する。ただし、問い合わせの中で引用した学協会著作権協議会の見解「第三者が論文のサマリーを独自に作り、これをインターネット上で公開するには、慣例に従

えば著者または著作権者の許諾を必要としない」件について、その真意を確認する。

- 科学技術振興事業団が10月に発足し、日本科学技術情報センター（JICST）の業務を引き継ぐ案内があった。
- 図書の寄贈：裳華房から内嶋善兵衛著「地球温暖化とその影響」

会計…9月の収支報告、平成9年度予算案の説明。

天気…(1) Vol. 43 No. 10 (1996年10月号)の掲載記事等と、同 No. 11, 12, Vol. 44 No. 1の掲載予定記事の紹介。(2) 気象衛星資料の提供媒体がCD-ROM化されるため従来通りの天気への提供方法が不可能となる。このため衛星写真の天気掲載は12月号で終了。

気象集誌…(1) Vol. 74 No. 6 (1996年12月号)掲載論文の紹介。(2) 常任理事会として英文校正料の値上げ(60\$→70\$)を了解。(3) Elsevier社から集誌の編集・刊行委託について委員会に再度交渉申し入れがあり、予算等の条件について交渉中。本件は日本気象学会の重要な事からであり、全国理事会で検討する。(4) 天気の目次を集誌に掲載する。集誌の目次を天気にも掲載する。

気象研究ノート…編集状況の紹介。

講演企画…(1) 97年春季大会分科会のテーマ募集への応募5件、委員会で1つ加え6とする。コンピーナーとテーマは① 中島映至（東京大学気候システム研究センター）、「ADEOS, ADEOS2 ミッションとそのサイエンス」、② 宮原三郎（九州大学理学部）、「成層圏の力学・科学と気候変動」、③ 近藤裕昭（資源環境技術研究所）、「都市の気候と環境」、④ 新野宏（東京大学海洋研究所）、「激しいメソ対流システムの構造と進化」、⑤ 丸山健人（東京学芸大学）、「気象予報技術」、⑥ 新田勅（東京大学気候システム研究センター）、「十年/数十年スケール変動」。(2) コンピーナーを委員会に参加させる。旅費を負担する。(3) 春季大会の分科会方式の試行は98年も継続。(4) 会場の確保等に関連し、大会のあり方について委員会が検討する。

教育と普及…・学校科目「地学」関連学会連絡協議会に参加の日本地学教育学会から50名程度のアン

ケート依頼。対象者の選定依頼は選定のみ対応。

国際学術交流…後期分の候補者2名の選定を了解。候補者の選定にあたり、昨今の科研費の旅費充当など大学関係者の海外渡航の条件変化を加味し、教育関係など国際交流にハンディキャップのある人は若手の制限を緩和することを承認。

電子情報…気象学会 BBS (電子掲示板) およびホームページの利用状況等。

3. 会員加入状況

新入会員12名を承認。

4. 「天気」掲載論文の英文要旨(アブストラクト)等の付加

・前回の常任理事会の検討を受け、編集委員会で作成した具体的掲載案を了承。

5. 学術情報センター電子図書館サービスにおける著作権処理について

標記センターにおける電子図書館サービスの試行関連で、担当理事から10月15日に学術情報センターにより開催された説明会の報告がされた。常任理事会の検討では、①同センターによる事業は学術情報の流通を促進することが主要な事務の一つであり、無料なら意義があるが、集誌等の関係

学会の販売部数減少が懸念されること。②同センターが課金という有料制度を導入することによる影響が課題。課金は事務の第三者委託等による経費の増額を招く恐れもある。③排他的な著作権の設定をされると、現在学協会著作権協議会に委託している著作権料の徴収事務の扱いとも競合する、等々の問題がある。

この問題は全国理事会でさらに検討すべきであることを確認した。

6. 名誉会員候補の選定

担当理事から選定のための申し合わせ事項を提示。全国理事会での検討を了承。

7. 評議員の選出

総合計画担当理事から改めて提案説明をした。特に、民間気象サービスなど研究成果の応用分野などの関連分野からの意見に注目すべきである。どんな活動なら参加するかなどの意見提示でも良い。前回常任理事会の検討のように、学会の裾野を広げる方向に進める。候補選定の仕方について、全国理事会でさらに検討を進める。

8. 秋季大会にかかる本部交付金の増額要求について

中部支部からあった経費の増額を認める。ただし、より早い段階で増額の意向を本部に提示するように注意する。来年度予算案に増額を反映させる。

日本気象学会および関連学会行事予定

行 事 名	開催年月日	主催団体等	場 所	備 考
第12回北方圏国際シンポジウム オホーツク海と流氷/氷海の民	1997年2月2日 ～5日	紋別市 (社)北方圏センター オホーツク海・氷海研究グループ	紋別市民会館・ 紋別文化会館 (北海道紋別市)	紋別市役所企画調整課 Tel. 01582-4-2111(内363) Fax. 01582-3-1833
関西支部 1996年度第4回例会	1997年2月7日	日本気象学会関西支部 海洋気象学会 (共催)	神戸海洋気象台 仮庁舎 (神戸市)	日本気象学会関西支部事務局 (大阪管区気象台調査課内) Tel. 06-949-6323 Fax. 06-944-2121
1997年地球惑星 関連学会合同大会	1997年3月25日 ～28日	地球惑星関連学会共催	名古屋大学東山 キャンパス (名古屋市)	国立極地研究所南極圏環境 モニタリング研究センター 塩原匡貴 Tel. 03-3962-4740 Fax. 03-3962-4914
日本気象学会 1997年度春季大会	1997年5月21日 ～23日	日本気象学会	筑波大学学生会館 (茨城県つくば市)	気象学会つくば大会97事務局 (筑波大学地球科学系) Tel. 0298-53-4502 Fax. 0298-51-9764